

みつくら 令和 6年 6月15日 第412号 発行 大瀬川活性化会議 編集 「みつくら」編集委員会 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2 大瀬川振興センター 電話45-6472 “お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”		九区事業満載の一日 5月26日朝から9区では一日がかりで4つの事業を行った。当日は朝から快晴で心地よい風が吹くなか、午前8時から9区自治公民館（菅原邦典館長）事業で45名参加の葛丸川河川の草刈りと公民館周りの植栽を行った。草刈りは、大瀬川橋から富沢橋の900mを1班が刈りながら下り、2班は富沢橋から上って合流点で終了。3班は富沢橋と松林寺橋600mを半分に分かれて草刈りをしながら合流したところで終了となった。 また、執行部と女性たちはベゴニア、サルビア、ジニアなど6種類約310本の植栽を行った。この間に、資源リサイクル事業の空き缶回収と、今年は新聞や雑誌、瓶類と段ボールの回収も行った。 続いて10時から、下大瀬川美土里の会（高橋義晃代表）主催による「イノシシ獣害対策研修会」が36名の参加で行われた。講師には、花巻市農村林務課有害鳥獣対策アドバイザーであり猟師としても活躍している藤原 大（まさる）氏を招いて、イノシシ被害の状況から生態の説明、被害を減らす方法について研修した。 内容は「イノシシは賢く臆病だが、一度エサの場所を覚えると、ピンクテープなどのイノシシよけにも慣れてしまい、群れて被害を大きくしてしまう。被害の拡大を防ぐ手立てとして、電気柵が一番効果があると思うが個人設置するより、地権者の協力で広範囲設置がより効果大きい。また、花巻市でも電気柵設置補助の予算もあるので地域全体での対策をお願いしたい」とのことであった。主催者の熊谷俊彦書記からも「獣害対策は真剣に考えなければならない時期なので、各方面から情報を得ながら下大瀬川美土里の会として活動したい」とし研修を終了した。 午後の部は、14時から第九区自主防災会（山形圭子会長）主催で「土砂災害の対応について」と題し、花巻市防災危機管理課の防災対策監である白井雅高氏を講師に研修会を開催した。 内容は「近年の自然災害による被害状況、個々による避難情報の収集と行動、そして緊急時における自主防災組織の大切さ」が話され、災害時用備蓄品の点検や研修会を忘れず行っていきたいとあった。 最後は、テーブルを講習会仕様から祝宴用に切り替えて「さなぶり（早苗響）」が34名の参加で開催された。 菅原館長から「田植えもほぼ終了し、今日は朝から色々な事業に参加されお疲れと思いますが、5年ぶりのさなぶりで懇親していただきたい」と挨拶のあと、熊谷政男第一老人クラブ会長の乾杯で始まった。楽しい懇親のひとときを過ごし、菅原章博改良区総代の中締めで、盛りだくさんだった一日の行事を全て終了し、散会となった 県道小屋場橋の段差の補修を予定 県道13号の薬師堂川に架かる小屋場橋の段差が大きくなって、南進する大型車の通過時の振動と音が酷くなり、特に夜間	はスピードを出すらしく凄いい音がする。一昨年にも、同じ所で橋の南側に隙間ができ上下線ともに音と振動が増して補修した経緯がある。この13号線は大型車の通行比率が高く、痛みが早いようだ。 下大瀬川美土里の会で第1回の一斉草刈り 農作業には爽やかな風が吹く6月1日に下大瀬川美土里の会（高橋義晃代表）では、37名が参加して第1回の一斉草刈りを行った。 今年は、6月に2回、7月に2回、8月に1回そして、9月に1回の計6回を計画。予め会員に予定日を配布し、初回は主に幹線道路の環境整備を午前中に行い、無事に事故もなく終了した。 桜並木の害虫防除始まる 葛丸の農村環境を守る会（板垣幸夫会長、213世帯）では、今年の桜並木害虫防除が始まった。年に4回の計画で、1回目は5月9日に薬師堂川桜並木、大瀬川振興センター桜並木、一ノ留め桜並木、上野々桜並木、7区自治公民館桜並木など9ヶ所の防除を行った。 アメリカシロヒトリは年に2回羽化し、更に気候によって羽化の時期が違うことから、駆除の適宜は難しいのが現状である。 アメリカシロヒトリの幼虫が網状の巣を作った時には、薬剤は効かず、その巣を作っている枝葉を切り取って焼き殺すしか方法はない。桜に限らず、一般的に、被害の枝葉をビニール袋に入れて「燃えるゴミ」として出すのも一つの方法とされるが、樹木の高い場所の巣を切り取るのはなかなか困難なことである。 畦畔一斉草刈りが始まる 葛丸の農村環境を守る会の畦畔一斉草刈りは6月1日から始まった。期間は7月31日までの61日間。出役者は朝8時30分に大瀬川運動公園の銀杏の下に集合し、朝礼と写真撮影をし、16時30分の終礼の写真撮影を行っている。 1日の日当は8000円、他に草刈り機と燃料分として2800円を支給する。水田耕作面積10aあたり3、240円を限度額としている。 運動公園の環境整備は八区が担当 大瀬川運動公園環境整備は、地区民運動会前の6月1日に8区の35名が参加して行われた。 運動公園のほか、県道13号盛岡和賀線のチェーン着脱場付近や歩道、駐車場、市道大瀬川線なども草刈をした。 今年草の伸びが早かったため、散歩や遊具の利用者のため、5月8日に遊具周辺を中心に菅原正勝さんが草刈りを行っていた。
人事 農事法人大瀬川 代 表 菅原清昇 第二理事 菅原浩孝 第三理事 畠山敏広			

みつくら 令和 6年 6月15日 第412号 発行 大瀬川活性化会議 編集 「みつくら」編集委員会 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2 大瀬川振興センター 電話 45-6472 “お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”	が、皆様がたのお役に立ちたいと思っております」と謝辞を述べた。 久しぶりの宴席とあって、楽しく懇親を深めたひとときであった。	生になってからは特に水泳に主力を置き、昨年は県中学校中総体では1500m自由形で3位入賞し、東北大会に出場している。また、菅原さんは8月に大分県で行われる全国高校総体（インターハイ）に出場する。
八区自治公民館が整備された花壇に花植え 6月2日に八区自治公民館（熊谷秀夫館長）は1班と4班の36名が参加して花壇に2種類の花苗を植えた。去年は大瀬川運動公園プールの解体工事が予定されていたため、花植づくりは中止されていた。 プール解体後初めての花植えのため、役員は事前の準備で石拾いや管理機で耕運しようとしたが、いざ掘ってみると花壇は石だらけで刃が折れそうになるほどだった。また、強風でマルチが飛ばされそうになったりと苦労したが、今年は「ベゴニア」300本、「マリーゴールド」300本を10列に植えた。今回来た苗は子供育成会が運動公園に植えた苗より小さくて、ポットから外す際に花の根本が切れそうなので、花壇下の水路に浸けてから丁寧に植えた。 今年からはまた多くの人を楽しませる花壇になればと期待している。	釣り大会のお知らせ 葛丸川淡水魚愛護組合（菅原昇組合長）では、6月30日に葛丸川の山祇神社付近で釣り大会を開催する。時間は朝5時の受付で6時〜8時までとなっているので多数の参加を呼びかけている。 また、大会前日の29日には午後2時から釣り大会が開催される河川付近と葛丸川法面を組合員が草刈りを行い、午後3時頃からは大瀬川地区子供育成会の子供達と葛丸川上流にあるポケットパーク付近で「ヤマメ」と「イwana」の稚魚1,000匹を放流する予定となっている。 この釣り大会に先駆けて、葛丸川淡水魚愛護組合（菅原昇組合長）では役員会の席で、一の留橋付近にある胡桃の木が、昨年に枯れており、倒木の恐れがあると出されたことを受け、当組合員の柳原紘樹さんをお願いしたところ快く了承いただき、去る5月19日、柳原さん他6名の組合員で無事撤去することが出来た。今年の釣り大会では、枝に釣り糸を絡ませるトラブルが解消すると思われる。	訃報 天神家の畠山英一さんは、5月3日に92歳で亡くなりました。畠山さんが予て（かねて）からの希望通り、自宅で家族に看取らながらお亡くなりになられたことは、家族にとっても悲しみが幾ばくか緩和されたことと思われます。 畠山さんで思い出すのは、南部杜氏として名を馳せたことでしよう。学校を終えたばかりの16歳の秋に宮城県の新野酒造店に酒屋働きに出たら、平成20年春まで実に69年間もの長い間酒造りに励まれました。その間39歳で杜氏試験に合格してから実に35年間も名杜氏として活躍されました。かつて畠山さんに「酒屋稼ぎでの思い出は？」とお聞きしたところ「杜氏を辞めるまで勤めた明利酒類（水戸市）での20年間ですね」と話された。日本有数のアルコール醸造と清酒醸造会社で、責任も大きかったそうだが、働き甲斐もあったとのことでした。畠山さんは、全国新酒鑑評会に9回も入賞し、更に南部杜氏自醸清酒鑑評会では優等賞を通算22回も受賞されるなどまさに名杜氏でした。畠山さんは地区での功績も沢山ありました。中でも「大沢竹次郎の生涯」発刊に際しては、父から聞いていたという話や保管していた基礎資料を基にして製本したものでした。 天満宮の別当や朴田納税貯蓄組合長など多くの役職を担われました畠山さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
八区2班で歳祝い 8区2班主催の「歳祝いとさなぶり会」が6月2日に24名が出席して紫波グリーンホテルで開催された。コロナ禍で5年振りの開会で、菅原浩孝班長は「本日は何かとお忙しいところ、ご参加下さいまして有り難うございます。また、区長さんにもお出でいただき有り難うございます。同時に本日は歳祝いの方々8名様をお招きしております。歳祝いの皆さんおめでとうございます。コロナ禍前の歳祝いは、花見を兼ねて行っていましたが、今年はさなぶり会を兼ねることとなりました」と主催者として挨拶した。 続いて、歳祝いの方々 板垣温奈さん、板垣真裕美さん、板垣トモ子さん、板垣武美さん、板垣幸寿さん、板垣契子さん、菅原佳子さんが紹介されそれぞれに記念品が渡された。 来賓の菅原昭悦第八区長は「本日はご招待を賜りましてありがとうございます。また、只今の歳祝いの皆様には、心からお祝いを申し上げます。これからも引き続きご活躍をされますように・・・」と祝辞を述べた。乾杯の後に歳祝い者を代表して板垣幸寿さんから「本日は班の皆様から祝っていただきありがとうございます。これからも幾ばくかではあります	7区自治公民館で花植え 去る5月26日に第7区自治公民館（菅原清孝館長）では、午前8時より「環境整備事業」として、ふれあい花壇の花植え、公民館敷地内の草取り・草刈り作業を行った。 今年は、1班の方々と役員15名がアゲラタム青紫色100本、マリーゴールド黄色100本、マリーゴールド橙色100本、ベゴニア桃紅色100本、ベゴニア白色50本の計450本を植えた。	季節のたより 九区の高橋昭一さん宅では、毎年「つばめ」が訪れている。今年は4月10日に一度訪れたものの巣作りせず、1カ月後の5月10日がら巣作りが始まり、今までで一番遅いとのこと。同じく、高橋義晃さん宅でも4月11日に来たが巣作りは5月3日からとのこと。高橋昭一さんは「5月30日現在で5個の卵を抱えているが、例年だと年2回の子育てを行っている。遅く巣作りとなった今年はどうなるのか心配だが楽しみにしている」と話していた。
	菅原さんが高校総体で優勝 第76回県高校総体のカヌー競技が6月1日に県立御所湖広域公園漕艇場で行われ、新山家の菅原瑠生（るい 不來方高校1年）さんがカヤックシングルに出場し、3分3秒46の記録で見事に優勝した。翌日の県民体育大会では、タイムを9秒はほど縮め、2分54秒85で優勝した。 よく耳にするカヌーとカヤックだが、違いがわからなかったので調べたところによると、使用するパドルの種類が違って、「シングルブレードパドル」を使用するのがカナディアンカヌー、「ダブルブレードパドル」を使用するのがカヤックであった。パドルの先が片方だけで漕ぐのと、両端を使って漕ぐのとの違いらしい。 菅原さんは昨年までの中学校では主に水泳の選手だったが、高校に学して初めてのカヌー競技であった。 菅原さんは幼い頃からスポーツが得意で、保育園に入る頃からキックボクシングを始めたのを皮切りに、ボルダリング（壁を登る競技）や水泳とスポーツの幅を広げてきたという。中学	子どもたちに思い出を！！大瀬川夏まつりを企画中 「大瀬川夏まつり」を今年も開催しようと実行委員を広く募集している。実行委員会は6月15日に立ち上げるが、8月11日の本番に向け随時開催する予定。それぞれの都合に合わせた関わり方で構わないので、老若男女、行政区を問わず、ひとりでも多くの仲間を増やしたいとしている。 訂正 山祇神社拝殿塗装工事の記事で、菅昭塗装所の菅原敦夫さんは、菅原淳夫さんでした。